

戦略的資料保存 - 残すために何を考え、どう実践するか

東京大学経済学部資料室 小島浩之

(1) はじめに

1) これまでの保存対策の評価(私見)

酸性紙、ビネガーシンドロームなど媒体の不安定さに警鐘を鳴らした。

修復・補修の技術の伝承

科学的視点からの分析の発展

これらを単眼的にとらえるようになってしまった。

複眼的視点、戦略的視点の欠如

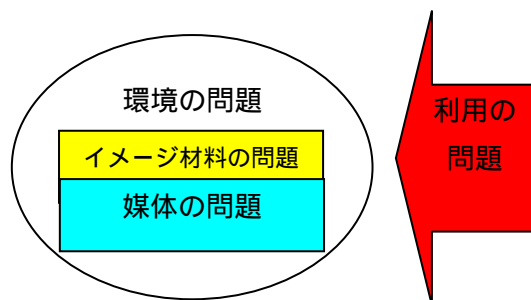
2) 複眼的、戦略的な視点の欠如は何をもたらすか

例) 改修工事はしたけれど・・・

- ・どこから手をつければいいのか???
- ・良くなりすぎたマイクロ庫
- ・マイクロフィルムにもあるイメージ材料の問題

(2) 複眼的資料保存と戦略的資料保存

1) 複眼的資料保存・・・劣化の一つ一つに複合的な要因があるとみて考える



2) 戦略的資料保存

戦略とは何か

・ 戦略 (strategy)

「戦術より広範な作成計画。各種の戦闘を総合し、戦争を全局的に運用する方法。転じて、政治社会運動などで、主要な敵とそれに対応すべき味方との配置を定めることをいう。」(『広辞苑』第5版)

長期的、大局的、原則的 意思決定、方向性決定 **プリザベーション**

・ 戦術 (tactic)

「戦闘実行上の方策。一個の戦闘における戦闘力の使用法。一般に戦略に従属。転じて、ある目的を達成するための方法。

短期的、局地的、例外的 (も許される) 戦略に基づく具体策 **コンサベーション**

経営戦略とは

企業の基本的な長期目標や目的を決定し、これらの諸目標を遂行するために必要な行動のコースを選択し、諸資源を割り当てること

Chandler, A.D.Jr. [1962], *Strategy and Structure*, The MIT Press(日本語訳: 三菱経済研究所訳『経営戦略と組織』実業之日本社, 1967)

その後、様々な研究者が多くの定義をする

諸研究者の定義の共通項 (岸川善光『経営戦略要論』同文館出版, 2006)

- 【1】 経営戦略とは環境対応パターンに関するものである。
- 【2】 経営戦略とは、企業の将来の方向に一定の指針を与える構想である。
- 【3】 経営戦略とは、企業におけるさまざまな意思決定の指針の役割を果たす

では戦略的資料保存とは何か

- 【1】 戦略的資料保存とは、長期的視点をもった資料保存の取り組みである。
- 【2】 戦略的資料保存とは、資料劣化の様々なパターン考慮したものである (複眼的資料保存)
- 【3】 戦略的資料保存とは、図書館の将来の方向性を見据えたものである。
- 【4】 戦略的資料保存とは、行動の意思決定を伴った資料保存である。
- 【5】 資料保存において、プリザベーションは戦略の、コンサベーションは戦術の範疇に入るべきものである。

3) 戦略の前提にあるもの

戦略、戦術は目的を遂行するために存在するもの 目的・目標の設定と認知

目的・目標、戦略、戦術は相互に裏付けし合った一体関係

(3) 東京大学経済学部における資料保存への取り組み

1) 目的

東京大学経済学部資料室は如何なる組織であるべきか
近現代資料保存の危機克服 他に所蔵のない資料の豊富さ
歴史史料としての体系的保存
利用のための保存

モノとしての資料への理解と人材育成、事業の継続性

2) 戦略・・・資料のホームドクターになろう！

何を保存するのか
何ができるのか
どこまでできるのか

3) 実例

蔵書劣化調査

<特徴>

- ・蔵書の劣化状況の現状を数値的に明らかにし、何をどのレベルまで保存し、そのためにはどのような対策を講じるべきかを明らかにした。
- ・利用されることで動く構造物としての状態調査を日本で最初に導入(国立国会図書館遠隔研修「資料保存の基本的な考え方」)

<ポイント>

- 【1】 対象範囲の確定・・・所蔵資料への理解の必要性
- 【2】 調査方法の確定・・・悉皆(全数)調査かサンプリング調査か
- 【3】 調査項目の確定
- 【4】 調査結果の分析
- 【5】 調査報告書の公表

表1 東京大学経済学部資料室蔵書劣化調査内容

調査内容	主たる調査項目等
No.	資料ID
請求番号	分類番号
表題ほか	タイトル、巻号など
出版年	合冊など複数年にまたがるものは最古号の出版年を記入
頁数	概算で記入
製本形態	製本形態と綴じ方について13種類に分類

製本状態	表紙の破損の有無について良、難軽、難重の三段階で評価
見開き性	資料の見開き性について良、難軽、難重の三段階で評価
本体劣化状態	料紙の劣化状態について官能法により4段階で評価
pH	pHチェックペンの変色具合により3段階で評価
附属資料の有無	附属物の有無を8種類に分類
イメージ材料	記録方法（手書、印刷、コピーなど）についてその種類を記録

表2 料紙の劣化状況

項目	冊数	割合%
酸性	210	77.2
Brittle	35	12.9
Very brittle	33	12.1
Week	28	10.2
good かつ酸性	114	41.9
week かつ酸性	28	10.2
brittle かつ酸性	35	12.8
Very brittle かつ酸性	33	12.1

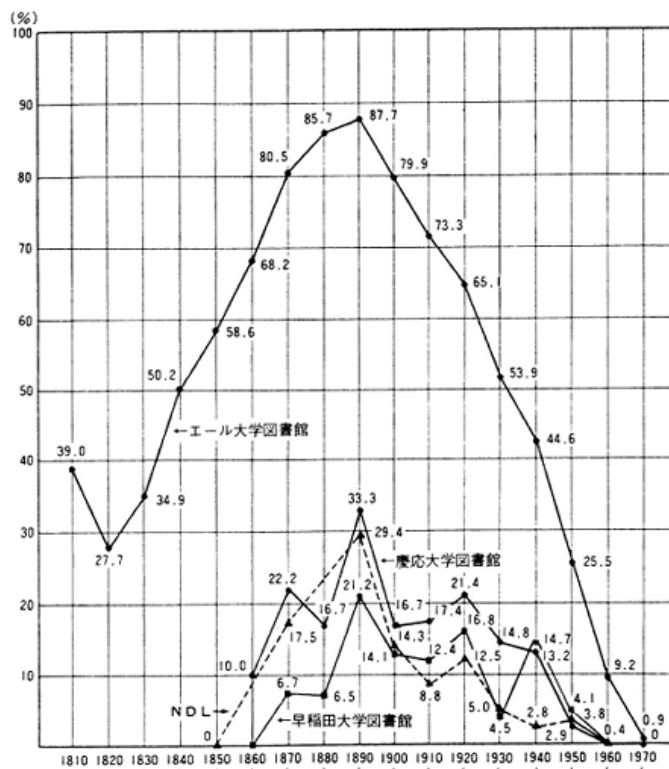


図1 劣化蔵書の比率（安江明夫「蔵書劣化の謎を追う - スローファイヤー探偵

団の冒険 - 」（『びぶろす』41-9・10, 1990）による）
 メリーランド大学によるランダム・サンプリング調査の結果
 酸性紙の割合は 46%（<http://www.lib.umd.edu/TSD/PRES/surtext.html>）

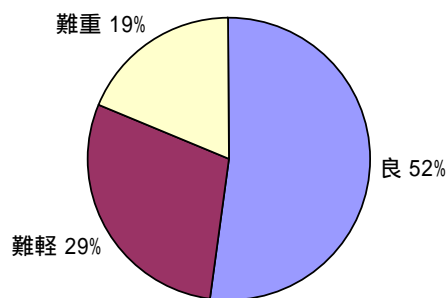


図 2 資料の見開き性

調査から具体策へ

対策方法の選定・・・最大の効率を上げられる方法とは？

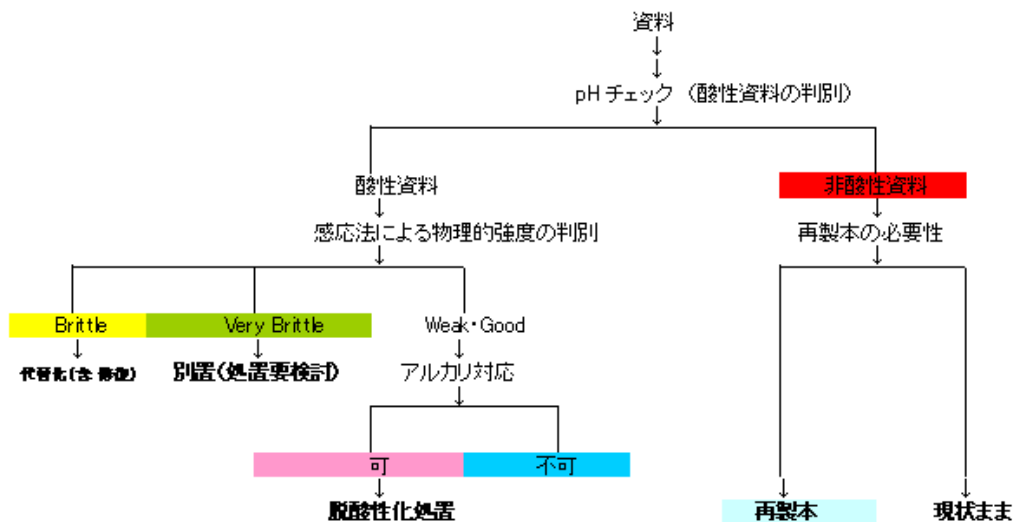


図 3 資料保存手当てのための選別フローチャート

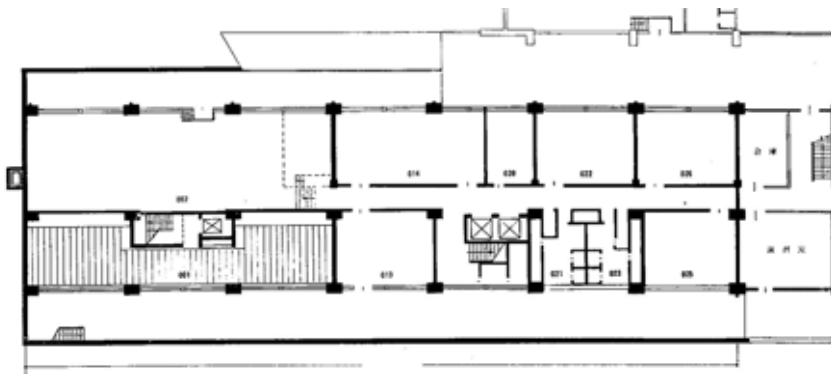
環境調査

<特徴> 中・長期的な視点にたつて学術資料を保管する環境における清浄度の計測と評価を行うための指針の明確化にむけて。

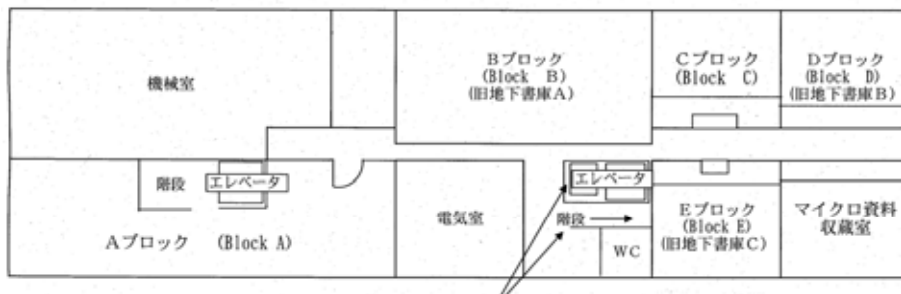
<ポイント>

- 【1】 対象範囲の確定・・・地下書庫
- 【2】 調査方法の確定・・・断続手的な測定、化学と人の融合
- 【3】 調査結果の分析
- 【4】 調査報告書の公表

吉川也志保、小島浩之、佐野千絵「大学における学術資料の保管状況とその問題点」(『保存科学』第46号) <公表予定>



上(図4) 改修前地下部分、下(図5) 改修後地下部分



マイクロフィルム劣化調査

<ポイント>

- 【1】 対象範囲の確定・・・マイクロ資料
- 【2】 調査方法の確定・・・悉皆調査とサンプリング調査
- 【3】 調査結果の分析
- 【4】 調査報告書の公表

小島浩之「東京大学経済学部における資料保存対策事業の成果とその意義」(『月刊IM』2006-6)

表3 マイクロフィルム劣化調査の評価基準

評価	評価基準
A	異常なし
B	若干の傷や固着はあるが、当面の処置は不要
C	フィルムに銀・ムラが浮かび、固着も激しい
D	フィルムの歪みや重度の固着、酢酸臭あり

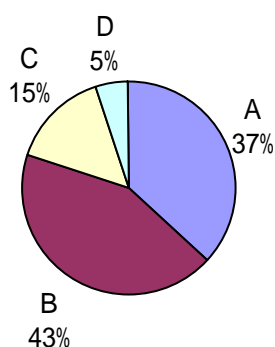


図6 東京大学経済学部図書館所蔵マイクロリールの劣化状況

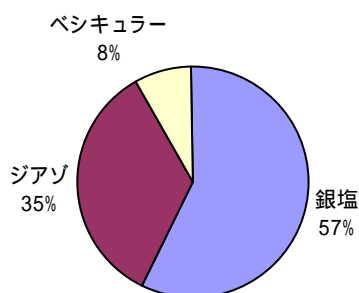


図7 東京大学経済学部図書館所蔵マイクロフィッシュ種類別割合

(4) まとめ

- 1) 業者、保存科学、図書館、利用者の関係
- 2) 中・長期的視点の重要性
- 3) モノとヒトの重要性
- 4) 図書館・司書の専門性とは何か